

第 4 章

第 2 次海津市地域福祉活動計画の推進

第4章 第2次海津市地域福祉活動計画の推進

この計画には、海津市を住みやすいまちにしたいという願いが込められています。この計画を推進していくために次のような取り組みを行います。

1 推進体制の整備

① 市社会福祉協議会の推進体制の整備

「地域福祉活動計画推進委員会」を設置します。ここでは、計画実施項目の進捗状況の確認、進行管理を行います。その上で、計画の実現のため何が必要か検討をします。

② 地区社会福祉協議会を中心とした事業展開

地区社協設置のため「拠点の整備・財産の確保・マンパワー（人材）の確保」をすすめます。市社協は、地区社協の活動が定着するよう情報提供、相談・助言などを行い、より身近な地域において、きめ細やかで柔軟性のある福祉活動が展開できるよう支援します。

③ 市民活動ボランティアセンターの充実

ボランティア、NPO、自治会など、市民の幅広い活動を総合的に支援するため「市民活動ボランティアセンター」を充実します。

④ モデル事業の展開

計画の推進にあたっては、必要に応じ地区社協を単位として、事業実施のための財源や人材を投入するなど、効果的に事業の展開を行います。

⑤ 行政との連携

市の関係各課とは、必要に応じて話し合いの場を持ち、他の各種行政計画との整合性を保ちながら活動計画の推進を図っていきます。

⑥ 今後の方針

事務局内の連絡会、調整会を増やし、各部署の情報や問題を共有して事業に活かします。また、専任職員の資質向上を図るため、専門研修に加え専門外研修等機会を多く持つとともに、資格取得の支援等、職員の自己研鑽を支援します。

【市民活動ボランティアセンターの役割と機能】

市民活動ボランティアセンターは、ボランティアやNPO、自治会、各種団体等による公益的な市民活動を、特定の分野や領域を超えて総合的に支援するとともに、市民の交流及び連携の促進を図るためのセンターです。たとえば、下のような機能を持ち、市民活動をサポートします。

●相談コーナー

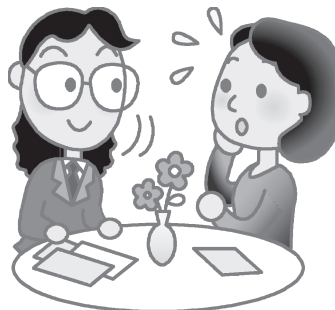
ボランティア、市民活動、NPO団体や助成金等に関する情報・相談とボランティア活動保険の手続き等の窓口を設置します。

●活動支援コーナー

コピー機、印刷機、紙折り機、裁断機を貸し出します。様々な市民活動を支援します。

●情報コーナー

センター内に、掲示板、インターネットコーナー、メールボックスを設置します。



2 関係機関・組織・団体の協働

この計画を実現するためには、多くの関係機関・組織・団体の協力が不可欠です。

それぞれが市民の願いを共有し協力をしながら、計画にある理念や目標の実現に向け努力を続けます。

また、市社会福祉協議会は、諸団体に対し協働の輪を広げるため地域福祉についての理解が深まるように努めます。

関係資料等

- 資料 1. 策定委員会の開催状況及び名簿
- 資料 2. 地域福祉活動計画評価委員会の開催状況及び名簿
- 資料 3. 海津市地域福祉活動計画事務局会議の開催状況
及び名簿
- 資料 4. 策定委員会設置要綱
- 資料 5. 海津市の現状

資料 1. 策定委員会の開催状況及び名簿

1. 策定委員会の開催

第1回 平成24年 8月 9日 (木)

協議事項 第2次海津市地域福祉活動計画について

第2回 平成24年11月15日 (木)

協議事項 各課の事業計画

第1次海津市地域福祉活動計画の評価

各地区の情報交換

第3回 平成24年12月13日 (木)

協議事項 計画の骨格作り

第4回 平成25年 1月10日 (木)

協議事項 原案作成 (仮印刷へ)

第5回 平成25年 2月15日 (金)

協議事項 第2次海津市地域福祉活動計画冊子仮印刷の校正

第6回 平成25年 3月14日 (木)

協議事項 第2次海津市地域福祉活動計画冊子完成報告

海津市地域福祉活動計画策定委員

役職名	氏 名	所属等
委員長	桑 原 富 茂	海津市自治連合会会長
副委員長	岡 本 敏 孝	海津保護区保護司会会長
策定委員	高 木 武 夫	海津市社会福祉協議会常務理事
策定委員	飯 田 か ゆ 美	海津市ボランティア連絡協議会代表
策定委員	水 谷 順 子	海津市保育協会会長
策定委員	可 知 宏 隆	海津市医師会理事
策定委員	森 山 定	海津市民生委員児童委員協議会会長
策定委員	中 島 健 壽	海津市老人クラブ連合会会長
策定委員	古 川 光 子	海津市赤十字奉仕団委員長
策定委員	下 田 博 暉	海津市福祉推進委員会委員長

資料 2. 地域福祉活動計画評価委員会の開催状況及び名簿

1. 評価委員会の開催

第1回 平成24年 9月19日（水）

協議事項 第1次海津市地域福祉活動計画の評価について

地域福祉活動計画評価委員

地区名	氏 名	所属等
高須地区	松 岡 勝 美	自治会長
	森 山 定	海津地区民生委員児童委員協議会会長
	下 田 博 暉	福祉推進委員
	伊 藤 国 男	第1次あいプラン策定委員
吉里地区	菱 田 司 朗	自治会長
	渡 辺 ひろみ	福祉推進委員 第1次あいプラン策定委員
東江地区	中 島 宏	自治会長
	森 廣 美	福祉推進委員
	永 松 洸	第1次あいプラン策定委員
大江地区	安 藤 勉	自治会長
	安 藤 美智代	福祉推進委員
	中 尾 忠 夫	第1次あいプラン策定委員
西江地区	栗 田 三 義	自治会長
	木 村 憲 子	福祉推進委員
	瀬 古 美 春	第1次あいプラン策定委員
今尾地区	宮 脇 信 幸	自治会長
	近 藤 喜 登	平田地区民生委員児童委員協議会会長
	佐 竹 淑 子	福祉推進委員
	佐 藤 鉄 馬	第1次あいプラン策定委員
海西地区	飯 田 正 樹	自治会長
	吉 安 加代子	福祉推進委員
	吉 田 比佐子	第1次あいプラン策定委員
下多度地区	伊 藤 善 彦	自治会長
	西 脇 昭 吾	南濃地区民生委員児童委員協議会会長
	安 部 昭 夫	福祉推進委員
	藤 木 正 人	第1次あいプラン策定委員
城山地区	渡 辺 勝 正	自治会長
	黒 田 昇	福祉推進委員
	寺 倉 政 子	第1次あいプラン策定委員
石津地区	上 田 輝 夫	自治会長
	丸 山 恒 夫	福祉推進委員
	池 田 千恵子	第1次あいプラン策定委員

資料 3. 海津市地域福祉活動計画事務局会議の開催状況及び名簿

1. 事務局会議の開催

第1回 平成24年 4月 3日 (火)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画の策定にあたって

第2回 平成24年 4月16日 (月)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画について

第3回 平成24年 7月 5日 (木)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画について
- ・地区福祉活動計画の策定について

第4回 平成24年 8月24日 (金)

- ・地域福祉活動計画評価委員について
- ・地区策定委員会の設置について
- ・職員による「第1次海津市地域福祉活動計画」の評価について

第5回 平成24年11月 8日 (木)

- ・地区策定委員会の状況について
- ・今後の地区策定委員会のすすめ方について
- ・第2次海津市地域福祉活動計画の市社協計画について

第6回 平成24年11月22日 (木)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画の市社協計画について

第7回 平成24年12月 4日 (火)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画の市社協計画について

第8回 平成24年12月 7日 (金)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画の市社協計画について

第9回 平成25年 1月31日(木)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画の冊子校正について

第10回 平成25年 2月 6日(水)

- ・第2次海津市地域福祉活動計画の冊子校正について

第2次海津市地域福祉活動計画事務局

氏 名	職 名
高 木 武 夫	常務理事
森 浩 晃	事務局長
大 橋 大 輔	地域福祉課 係長
池 田 正 樹	地域福祉課 主任
水 谷 英 基	地域福祉課 主事
田 口 恵	地域福祉課 主事
石 貝 拓 也	地域福祉課 主事補
水 谷 友 美	地域福祉課 主事補

資料 4. 策定委員会設置要綱

海津市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 海津市地域福祉活動計画策定委員会（以下「委員会」という。）は、海津市における地域福祉活動計画を策定することを目的として設置する。

(組織)

第2条 委員会は、海津市社会福祉協議会（以下「社協」という。）会長が委嘱する20名以内の委員をもって構成する。

(役員)

第3条 委員会に委員長1名及び副委員長1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初の委員会は、社協会長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 委員会が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、説明及び意見を聴くことができる。

5 委員長は、会議を公開することができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、社協内に置く。

(設置期間)

第6条 委員会の設置期間は、平成19年5月31日から地域福祉活動計画策定完了までとする。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成19年5月31日から施行する。

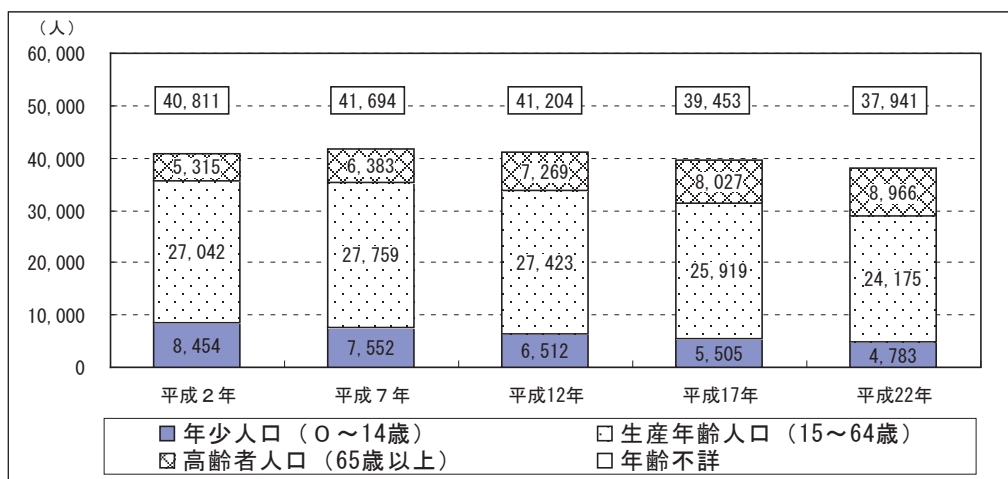
資料 5. 海津市の現状

1 人口の推移

(1) 人口の推移

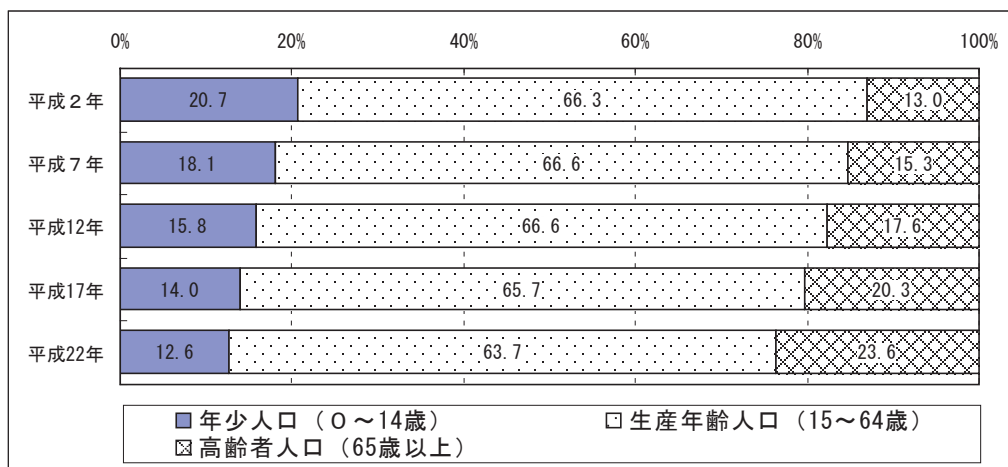
本市における総人口は、国勢調査によると平成2年の40,811人から平成22年には37,941人へと減少しています。年齢3区分でみると、年少人口（0～14歳）や生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にあるのに対し、高齢者人口（65歳以上）は増加傾向にあり、平成22年には23.6%と約4人に一人が高齢者であり、本市においても少子高齢化が進行している状況がみられます。

図：人口の推移



資料：国勢調査（平成12年までは旧海津町、旧平田町、旧南濃町の合計値）

図：年齢3区分別人口比率の推移



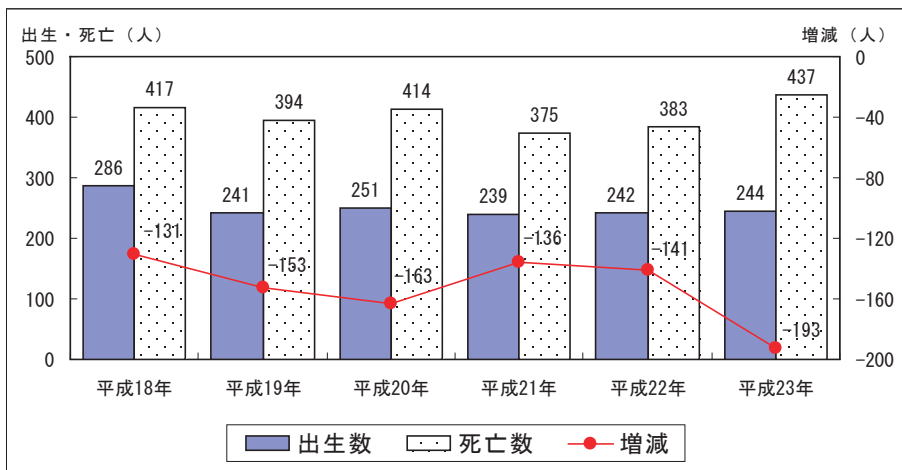
資料：国勢調査

(2) 人口動態の推移

出生数と死亡数による自然動態の増減を平成18年以降で見ると、いずれの年においても死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、平成22年までは150人前後、平成23年では約200人程度の開きがみられます。

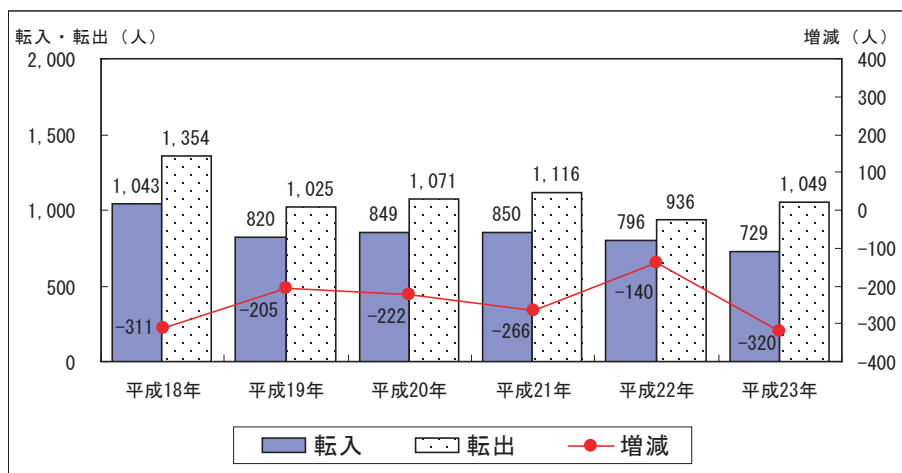
また、転入と転出による社会動態の増減を平成18年以降で見ると、平成19年以降は転出が転入を上回る社会減が続いています。

図：自然動態の推移



資料：岐阜県人口動態調査

図：社会動態の推移



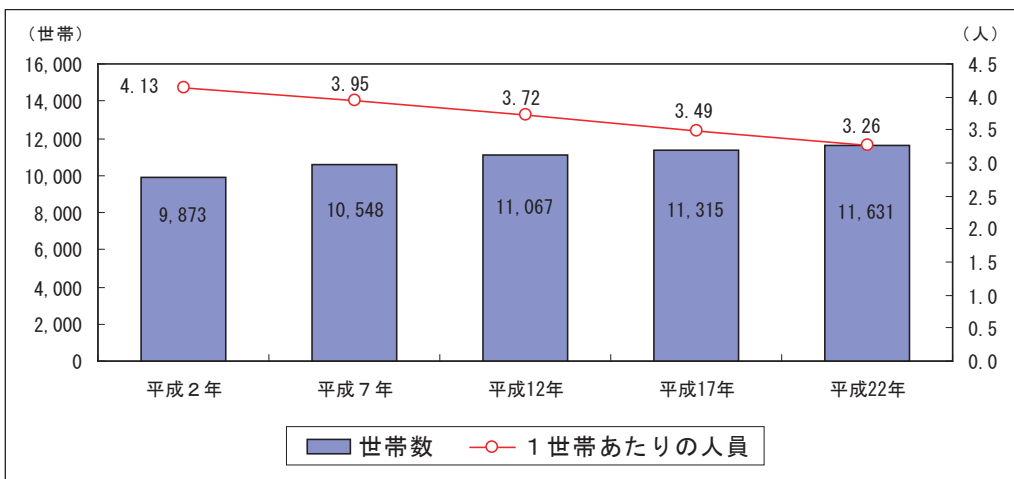
資料：岐阜県人口動態調査

2 世帯の状況

(1) 世帯数と平均世帯人員の推移

本市における世帯数は、国勢調査によると平成2年の9,873世帯から平成22年には11,631世帯へと増加しています。また、1世帯あたりの平均人員は減少傾向にあり、核家族化や少子化の傾向がうかがえます。

図：世帯数と平均世帯人員の推移



資料：国勢調査

(2) 高齢者世帯の推移

65歳以上の高齢者のいる世帯の推移をみると、高齢化の進行にともない、高齢者のいる世帯も増加傾向にあり、平成22年には5,911世帯と全世帯の約5割を占めています。また、高齢者単身世帯も増加傾向がみられ、高齢者世帯の約1割を占めています。

表：高齢者世帯の推移

	一般世帯数合計 (世帯)				
	高齢者のいる世帯		高齢者単身世帯		
	世帯数 (世帯)	構成比 (%)	世帯数 (世帯)	構成比 (%)	
平成2年	9,873	3,860	39.1	190	4.9
平成7年	10,548	4,475	42.4	250	5.6
平成12年	11,067	4,951	44.7	331	6.7
平成17年	11,315	5,332	47.1	466	8.7
平成22年	11,631	5,911	50.8	668	11.3

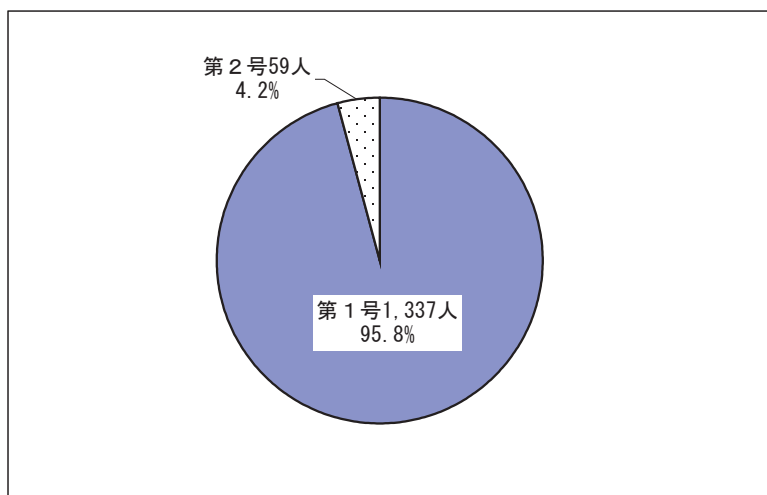
資料：国勢調査

3 介護保険要支援・要介護認定者数

(1) 要支援・要介護認定者数の状況

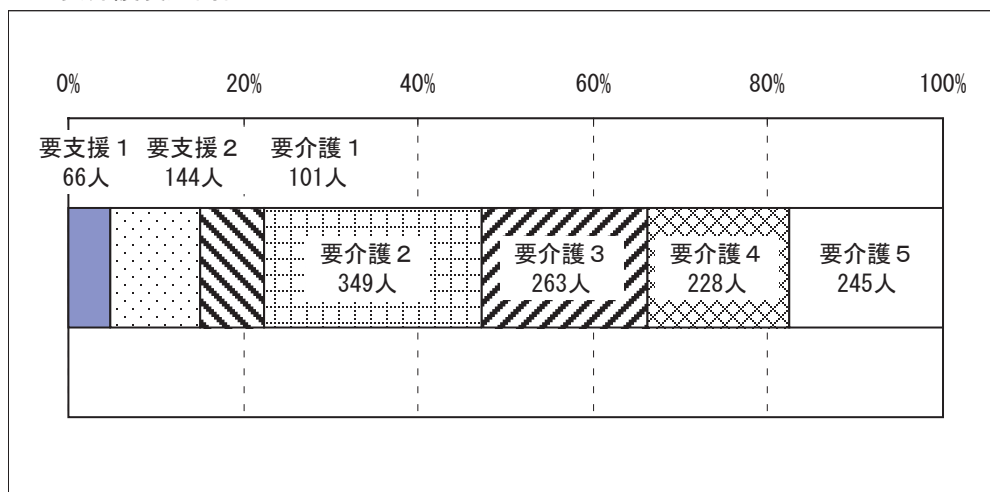
平成24年3月末現在、要介護認定者のうち第1号被保険者（65歳以上）は1,337人、第2号被保険者（40～64歳）は59人となっています。

図：被保険者の割合



資料：高齢福祉課

図：要介護度別割合



資料：高齢福祉課